

冬の交流会 ペースメーカー手帳の読み方勉強会

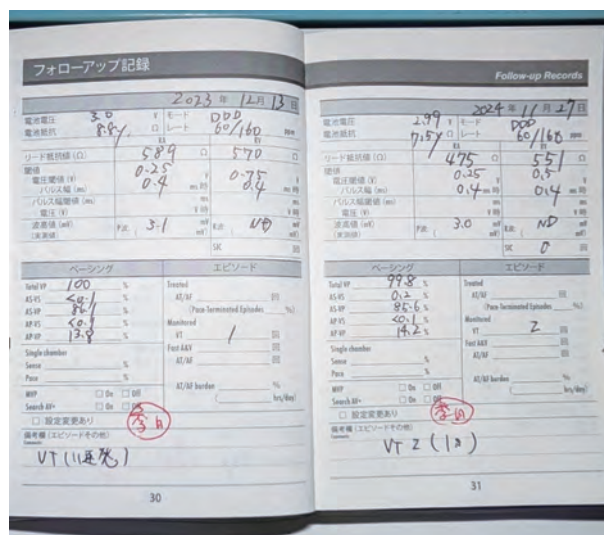
日 時：令和7年2月7日（金）13:00～15:00

開催場所：広島市総合福祉センター会議室2

参加者：会員7名 一般1名

寒波の襲来で、雪で足元が悪くなったらと心配しましたが、皆さん元気に集まって頂き冬の交流会を持つことが出来ました。今回はかていてる2024年10月号「ペースメーカー手帳の読み方勉強会」を参加者で読み合わせ、自身のペースメーカー手帳の検査記録と見比べてみて自分の心臓にはどんなペースメーカーが植え込まれているのかを勉強する会としました。わずか8名の参加者であっても、AAIR、VVI、DDDと異なるモードであったり、リード線抵抗値も400～1,200オーム、電池残量も2年～10年とその人毎に数値が異なるのが判りました。会話の中で年1回の定期検査時には詳しく先生から説明を聞く時間もないので後で家に帰って読んでみて備考に書いてあるVTとか、AT/AFとかの意味を先生に聞くのは次の1年後になるとの不満が出ていました。このあたりの対処が友の会で少しでも理解が増して行けば安心して暮らして行けるようになると思います。

今回勉強したことで、参加者より「今度検査の時に先生に一言、二言聞いてみよう」と言ってもらえたことが良かったです。



特別講演

ペースメーカー手帳の読み方勉強会

日時：2024年4月13日（土）13:30～15:30
会場：世田谷区立保健医療福祉総合プラザ（うめとびあ）
講師：島藤 徹也（東京工科大学医療健康学部臨床工学科）
司会：中川 剛夫（東京支部副支部長）

朝食：ペースメーカー（以降PMと表記）患者は全員が必ず持っているPM手帳ですが、何が書いてあるのか実はよくわからないという人が多いと思います。定期検査の時も何を聞いていいのかわからない。今日はそんな人のために、直にみなさんの手帳を見ながら説明していただくこともある勉強会です。では、島藤先生、よろしくお願いいたします。

1.PM 概説

PMを植え込まれた方は皆さん、定期チェックを半年から1年に1回受けていると思います。多くの病院では、心電図の検査をして、レントゲン写真を撮って、PMの点検をして、診察をして、もし設定変更が必要なら変更をして、次回の予約を半年から一年の間でするのが基本になります。電池残量が少なくなると、1ヵ月から数ヵ月と点検期間が短くなります。受診にはPM手帳が必ず必要です。

半年から1年とすごく大きっぱに言った理由は、最近では遠隔モニタリングがだいぶ普及してきたからです。ベッドの近くに関心を持ってくださいと言われている方も多いと思いますが、日本では2009年

54
かていてる 2024年10月号

広島平和公園での花見会を開催しました

日 時：令和7年4月4日（金） 11:00 ～ 13:00

集合場所：平和公園レストハウス

参 加 者：会員6名、一般1名



今年の花見会の開催について会員より被爆 80 年になるのでは是非平和公園でやりたいと提案をいただきました。近年は訪れる外国人が多く、花見でたくさんの人出が懸念されたのですが、近所にお住いの会員が早朝より桜の下の特等席のベンチを確保してくれたおかげで満開の桜のもとでお弁当と一緒に食べることが出来ました。昨年と同様お弁当は田舎むすび弁当を注文したのですが、むすびのサイズが明らかに小さくなっていて最近の物価高の影響が出ていました。

現在 70 歳の私が参加された元気な 80 代の方のお話振りに学ぶべきことが多くあって、楽しいです。日常生活のこと、ペースメーカーのことについて会話がはずみました。

- ・「私は昭和 15 年生まれなのでこの中で一番年でしょ？」との発言に対し、「いや俺は昭和 13 年生まれだ」と。
- ・その 13 年生まれのシニアは最近新車を買ったそうです。（安全装備が充実した新車の方がシニアの運転にはより適しているかとは思いますが、すごいです）
- ・杖を使って来られた方は公園に来る途中マックで並んでアップルパイを皆のために買ってきてくれました。
- ・点滴の話が出て、リード線が通っている左側は避けて右腕から点滴をすると言われたことがあると。なるほどと納得しました。

最後に原爆ドームをバックにして集合写真を撮り散会となりました。

